

金属カチオンとの相互作用もろもろ

2002年2月より、「ハッ!として疑義照会」を連載させていただき、これまでに様々なご意見をいただきました。職員一同、うれしくもあり、勉強不足が露呈しないかとヒヤヒヤしながらの執筆となっています。

本誌7月号で金属カチオンとの相互作用による吸収阻害について取り上げましたが、これについては反響が大きかったように感じます。少し調べてみましたので、現場の疑義照会の資料として参考になれば幸いです。

金属カチオンを含む抗潰瘍薬と含まない抗潰瘍薬

表1に金属カチオン(Al、Mg、Ca)を含む制酸薬、抗潰瘍薬を示しました。また、表2には金属カチオンを含まない抗潰瘍薬を示しました。

キャベジンUコーワ散の場合、Al、Mg、Caを含みますが、錠、顆粒は有効成分がメチルメチオニンスルホニウムクロリドのみで金属カチオンは含みません。ちなみにOTCのキャベジンAコーワ、-コーワ細粒、コーワ消化薬S、液キャベコーワ、液キャベコーワSはAl、Mgを含んでいます。

また、ファイナリンGはAl、Mgを含みますがファイナリン散は有効成分が臭化メチルペナクチジウムのみで金属カチオンを含みません。

また、金属カチオンを含む医薬品の中でも含有量にかなり開きがあります。医薬品によって各種金属カチオンへの親和性が異なりますが、たとえば1回量で比較するとマーロックス顆粒はAlを142mg、Mgを200mg含み、アルサルミン細粒はAlを153mg、コランチル顆粒はAlを119mg、Mgは121mg含んでいます。

抗潰瘍薬ではありませんが、例えばバファリン81mgは1錠中にAlを2.2mg、Mgを6.3mgと比較的少量となっています。

Caを含む漢方薬

一方、漢方薬の含まれる生薬にも、ボレイ、リュウコツ、セッコウにはカルシウムが多く含まれているので注意が必要です。表3に、これらが含まれている漢方エキス製剤をあげてみました。

ニューキノロン系抗菌薬と金属カチオン

ニューキノロンの金属カチオンとの相互作用については、Al、Mgに加えて、平成12年末よりFe、Caの情報が増えるようになりました。Fe、Caについては製剤により添付文書での記載が異なるので表4に示しました。メガロシン(成分フレキサシン)は金属カチオンとの相互作用が問題とならないとされています。

なお、調剤と情報2002.7(vol8.No7.)p112「鉄剤と抗生物質の併用」の表1でクラビット(成分レボフロキサシン)の服用上の注意として「Al、Mg、Fe、Caを2時間以上後に服用」としましたが、Caは影響がないことが確認されています。お詫びして訂正させていただきます。

表1 金属カチオン(Al、Mg、Ca)を含む主な制酸薬、抗潰瘍薬

商品名	金属カチオン		
	Al	Mg	Ca
アスコブ (細粒)			
アドルピン			
アラント			
アラントSP、-SF			
アルサルミン 液 細粒 錠			
アルミゲル 細粒			
アルミオイス			
イサロン 錠 顆粒			
ガストロフィリンA			
キャベジンUコーワ 散			
グルマール 顆粒			
ケイ散マグネシウム			
ケーター末 2号			
合成ケイ散アルミニウム			
コランチル 顆粒			
サモールN			
シリカミン			
水酸化アルミニウムゲル			
酸化マグネシウム			
スピーゲル			
炭酸Mg			
つくLA M散			
バファイリンG			
パンテリン 錠			
ピーマーゲン散ショーワ			
ファイナリンG			
複合エピサネートG顆粒			
ペクシー顆粒			
マーロックス 懸濁内服用			
マリジンM			
ミレマゲ (錠)			
メサフィリン 末 錠			
ユーナイン 錠 顆粒			
FK散			
KM散			
NIM散			
S M散			
TM散			
YM散			

表2 金属ナチオンを含まない主な抗潰瘍薬

商品名 規格
アシノン カプセル
アズノール 錠 顆粒
アスパロン カプセル
アブレース 錠 細粒
アルタット カプセル
アルロイトG 内服液・ドライシロップ
アロカ カプセル
ウルゲート カプセル
オメプラール 錠
ガスター 錠 散 錠
ガストローム 顆粒
ガスロンN 錠 細粒
カムリード カプセル
キャベジンUコーワ 錠 顆粒
グルミン 顆粒 S細粒
ゲファニール (ソフト) カプセル 細粒
ケルナック カプセル 細粒
サイトテック 錠
ザンタック 錠
セルベックス カプセル 細粒
ソロン カプセル 細粒 錠
タガメット 錠 細粒
タケプロン
ドグマチール 錠・カプセル 細粒
ノイエル カプセル 細粒
ノズレン 細粒
パリエット錠
ファイナリン散
プロテカジン錠
プロミド 錠 顆粒
マーズレンS 顆粒
ムコスタ 錠
ロノック カプセル

表3 Caが含まれている漢方エキス製剤の例

カルシウムを主成分とする生薬	漢方エキス製剤
ボレイ	安中散(5)、柴胡桂枝乾姜湯(11)、柴胡加竜骨牡蛎湯(12)、桂枝加竜骨牡蛎湯(26)
リュウコソ	柴胡加竜骨牡蛎湯(12)、桂枝加竜骨牡蛎湯(26)
セッコウ	木防己湯(36)、消風散(22)、越婢加朮湯(28)、白虎加人參湯(34)、釣藤散(47)、麻杏甘石湯(55)、防風通聖散(62)、五虎湯(95)、辛夷清肺湯(104)、小柴胡湯加桔梗石膏(109)、桔梗石膏

赤瀬朋秀 漢方調剤研究 vol.10 No.2 p36 -p40(2002)を改変

表4 ニコチン系抗菌薬と金属ナチオンとの相互作用比較
 (□は添付文書で相互作用に注意すべきとされているもの)

商品名 (成分の略号)	Al	Mg	Fe	Ca
オゼックス、トスキサシン				
ガチフロ(GFLX)				
クラビット(LVFX)				
シプロキササン(CPFX)				
スバラ(SPFX)				
タリビッド(OFLX)				
バクシダール(NFLX)				
パレオン、ロメバクト(LFLX)				
フルマーク(ENX)				
メガロシン(FLRX)				